

令和元(2019)年度 江戸川区立瑞江第三中学校 学校関係者評価 評価用報告書

学校教育目標	○自ら学んで、自己を高める生徒 (知性) ○人を大切にして、共に生きる生徒 (敬愛) ○心身が健やかで、活力のある生徒 (健康)	目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	・生徒の心を耕し、体を鍛え、学力を伸ばす学校 ・自ら学んで自己を高め、人を大切にして共に生き、心身が健やかで活力のある生徒 ・生徒に耳を傾け、模範を示し、導く教師
前年度までの学校経営上の成果と課題	<成果>○学習指導において、学習規律の徹底は概ね良好であった。 ○生活指導において、主任のリーダーシップの下、組織的な取組みができ、学校全体が落ち着いた。 ○体育・健康に関する指導で、保健体育の補充運動や昼休みの校庭・体育館の利用が増え、体力向上に繋がった ○特別支援教育について、校内委員会を定期的に開き、SCも交えて情報交換・協議を行うことができた。 ○図書ボランティア・植物栽培で学校応援団を活用した。		
	<課題>○生活習慣において、テレビ視聴およびスマホ使用の時間を減らし、家庭学習の一層の充実をはかる。 ○主体的対話的で深い学びを目指した、校内研修の実施や授業改善を図る取り組みを行う。 ○家庭での過ごし方で「江戸川っ子、家庭ルールづくり」を活用して、家庭との連携を図っていく。 ○生徒や保護者、そして指導する教員それぞれが過度の負担にならない部活動を推進する。		

教育委員会重点課題	取組項目	評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価		学校関係者評価		来年度に向けた改善策	
					取組	成果	成果と課題	評価		コメント
特色ある教育の展開	小中連携教育の推進	「小中連携教育構想」及び「各教科等の連携教育プログラム」による連携の充実	8月の小学生の部活動体験、6月の小中での授業見学交流および授業後の協議の実施	年3回以上の小中連携を行う	A	A	○小学校教諭はテーマを設けて意見・情報交換ができた。また、今年も小学校で部活動体験を開催できた。●生徒の学力向上の成果は現れていない。	A	○部活動体験は良い。 ●鎌田小や南篠崎小も入れて欲しい。	各教科及び生活指導関連の連携に力を入れる
	花があふれる学校に	保護者が中心である緑の応援団と生徒の園芸ボランティア部が連携して取り組む。	植え替えと土日を含めた日常の水やりや手入れを行う。	年に4回の植え替えを行う	B	B	○校舎入口を花で飾ることが出来た。 ●連休日の水やりが出来ないことが多い。	A	○季節の花を楽しみにしている。	地味だが継続して取り組む。
	地域の特色を生かした教育活動の推進	老人福祉施設等との交流	老人施設主催の活動に参加する	毎回の会合等に10人以上の生徒が参加する	A	B	○広く呼び掛けが集まるようになった。 ●会によって参加人数が集まらないことがある。	A	○協力的でありがたい。 ●もっと参加してほしい。	生徒会でも取り上げて参加を促す。
教員の資質向上	教員研修の充実	ICTアシスタントによる校内研修の実施によるICTを活用した教員の授業力の向上	各教科でPCやプロジェクターを使った授業に取り組む。	社会、家庭科、技術科で年間20回以上のPCを使った授業を行う。	B	B	○年間20回以上のPCを使った授業を行った。●プロジェクターを使うには暗幕が足りない。	B	○黒板上のプロジェクターは素晴らしい。役立てて欲しい。	PC使用がもっと楽になる環境を整える。
	特別支援教育の推進	校内委員会の活性化を図ることなどによる指導・支援の充実、エンカレッジルームの整備。	特別支援委員会を中心にケース会議や指導方法の提案を行う。	週に1回の委員会を開催して改善を図る。	B	B	○合理的配慮ができるように配慮した。 ●エンカレッジルームの整備が進まなかった。	B	色んな生徒に良く対応していると思う。	より多くのケース会議を行う。
	授業力向上への推進	協働学習等の授業の充実	生徒による授業評価を行い教員自らの授業を振り返る。	80%以上の生徒が満足する授業を行う。	A	B	○●生徒による授業アンケートから、80%以上の生徒が満足する授業教科は1年、2年、3年だった。	A	落ち着いた授業を行って安心している。	興味関心をより高める工夫を行う。
いきいきと学ぶ教育の充実	確かな学力の向上	「確かな学力向上推進プラン」の実施・改善や補習の実施などによる基礎学力の向上。	基礎学力の向上を目指した補習授業や基礎力テストの開催	年間30回以上の補習授業を行い、基礎学力を問うテストを年3回以上行う。	B	B	○基礎基本の徹底をすることが出来た。 ●低学力生徒の参加が少ない。	B	都と比べると低いが学力が上がっていることは素晴らしい。	主体的・対話的で深い学びをしていく。
	読書科の更なる充実	学校図書館の整備・活用の推進や探究的な学習の充実	読書科として探究的な学習に取り組む	1年間を通じて1つ以上の成果物を作成する。	B	B	○各学年で計画的に探究的な学習を行った。 ●成果物をより一層充実させる。	B	読書好きな生徒を育てて欲しい。	より充実した成果物の作成を目指す。
	体力の向上	体育の授業や休み時間における主体的な運動の実施による運動意欲の向上	体育で毎回の補助運動の実施、昼休みの体育館開放	3年生で全国平均値に迫っていく。	B	C	○積極的に運動を伴う遊びをする生徒が増えた。●体力テスト結果が余り向上していない。	B	体力がつかうように指導をお願いします。	楽しく体力作りが出来る工夫をする。
	オリパラ教育の推進	「オリンピック・パラリンピックレガシー創造プラン」に基づく取組やオリパラコーナーの充実	オリ・パラコーナーの充実ならびに各教科でのオリ・パラ教育指導	オリンピック・パラリンピックへの興味・関心が高まる。	B	B	○車イスバスケの日本代表キャプテンの講話を行うことが出来た。●オリパラコーナーの変化が少ない。	B	オリンピックの話が素晴らしかった。	レガシーとして残るよう指導していく。
	外国語教育の推進	授業力の向上とALTの効果的な活用	年間3回以上の研究授業を行う。	区や都の学力調査で平均値との差を無くす。	B	C	○都学力調査では、昨年より英語の正解率が上がった。●英語だけで3回の授業研究は出来なかった。	B	英語の点数が上がっていることは良かった。	英語検定受験も促しながら取り組む。
	行事実施の工夫	多様な体験ができるような様々な行事の企画・運営	宿泊行事、校外学習、運動会、学芸発表会、3年生を送る会、球技大会などの実施	年度末評価で保護者から90%以上の支持をえる。	A	A	○年度末評価で%の支持を得た。 ●校外学習では学年ごとに計画が違い、学校として一貫していない部分がある。	A	運動会・学芸発表会はとても良かった。	他校の校庭で運動会を行うが成功させたい。
	相談体制健全育成の充実	健全育成の充実	「江戸川っ子・家庭ルール」の推進による児童・生徒の生活習慣や情報モラル意識の向上	各学期に家庭ルール週間を設け家庭と学校で生活リズムを確認する	毎日朝ごはんを食べる。TVスマホ等は1日2時間以内。	B	B	○保護者に対して啓発できた。 ●生徒のテレビや携帯使用時間が、改善できていない。	B	家庭で考える機会を作るのは良いことだ。
	いじめ・不登校等の対応	いじめ・不登校に応じた未然防止と早期対応に関する対応の充実	毎学期にいじめに関する調査を行う。	アンケートを年3回以上行う	B	B	○教員間の連絡報告が円滑にできた。 ●アンケートで発覚するまでわからない件があった。	B	いじめを無くしてもらいたい。	いじめがすぐに発覚できる体制をつくること。
	適切な生活指導の実践	基本的な生活習慣を身に付けさせる指導の充実	毎週の朝礼においての生活指導講話および適時開催の学年集会における指導	週に1回、生活指導部会を開会する。	B	A	○あいさつは積極的に入っている。 ●授業時間開始が少し遅い。時間厳守に課題が残る。	A	気持ちの良いあいさつを行っている。	職員自らあいさつすることを継続する。
その他	地域との連携	地域行事への参加、学校応援団の活用	自転車盗ゼロ作戦・東部区民まつりへの参加、図書ボランティアへの学校応援団の活用	地域行事に年で100名の生徒を参加させる。	A	B	○部活動単位で地域行事の参加ができた。●参加数は85名だった。	B	地域に協力してくれてうれしい。	今後も啓発を進める。
	教育環境の整備	校舎の衛生管理、破損等の早期発見・修繕	毎日の清掃および点検	教育環境が整えられているという保護者評価80%以上	B	B	○保護者評価は83%だった。 ●工事が開始になって不便が多い。	B	校庭が小さくなったが、新校舎が出来るまで我慢ですね。	校舎をきれいな状態に保っていく。